

令和3年度 障害者サービス担当職員向け講座 体験講座のご案内

公益社団法人日本図書館協会では、国立国会図書館関西館との共催で、国内の図書館員を対象に、図書館における障害者サービスの基礎的な知識および技術の習得を目的とする講座を開催します。

講座はオンライン形式（リアルタイム）の講義を国立国会図書館関西館が担当いたします。

一昨年度まで行っていた各機関における実習はありません。オンライン形式（リアルタイム）で、希望者による各種体験講座を日本図書館協会障害者サービス委員会が担当いたします。

日程 講義 令和3年12月8日（水曜日）及び9日（木曜日）

体験講座 令和3年12月10日（金曜日）

開催形式 講義・体験講座ともにウェブ会議システム Zoom を用いたオンライン形式

※講義は国立国会図書館関西館からの配信、

体験講座は日本図書館協会障害者サービス委員会が担当いたします。

対象 国立国会図書館関西館が担当する講義を全日程申し込まれた図書館等職員（経験年数、担当は問いません）。

体験講座定員 40名 先着順（次の優先順位で受付します。定員になり次第、締め切ります。）

①二日間の講義の申し込みをされている方

②体験講座に関して、午前午後を通して三つの体験講座に参加可能な方

③1機関1名（定員に余裕があれば1機関から複数ご参加いただけます）

参加費 無料

主催 国立国会図書館関西館、日本図書館協会（企画・運営：障害者サービス委員会 関西小委員会）
※講義は、全日程参加を原則とします。（体験講座のみの参加はできません）。

講義の詳細と申し込みについては国立国会図書館のホームページをご覧ください。

<http://www.ndl.go.jp/jp/library/supportvisual/supportvisual-kouza.html>

体験講座日程 12月10日（金曜日） 9時15分から17時

午前の部 全体説明 9時15分から 体験講座1 9時30分から11時30分

午後の部 体験講座2 12時30分から14時30分 体験講座3 15時から17時

概要

体験講座は各グループに分かれて、5～8名程度で行います。お一人三つの体験講座に参加頂きます。

体験講座の内容については以下の体験講座一覧をご確認ください。

体験講座によっては参加条件がございますので、ご注意ください。

体験講座詳細

体験講座 w01 手話などコミュニケーション体験

内容：手話による簡単なあいさつや筆談の基本、応対時に気をつけておきたいこと、カウンター窓口でのやりとりで実際に必要になるケースを体験します。

参加条件：Zoomのビデオ・音声・チャット機能を利用できる方。

体験講座 w02 プレクストーク PTR3 の使い方講座

内容：シナノケンシ株式会社の講師が録音図書（デージー）の特徴、借り方、録音図書再生機（プレクストーク）で再生する基本操作方法、見えない、見えにくい方に説明する際の注意点、「サピエ」な

ど便利な使い方を説明し、実際にプレクストーク PTR3 にて体験いただきます。

参加条件：研修用デモ機の送料（片道・返却時）のご負担をいただけるかた。シナノケンシより事前に送付いたします。Zoom のビデオ・音声・チャット機能を利用できる方。

体験講座 w03 プレクストーク操作の利用支援

内容：利用者から電話でデイジー再生について聞かれたときに、適切に対応できるよう説明の模擬体験をします。CD や SD カードでの取り扱い方、再生や見出しやページ移動などを学びます。

参加条件：当日どの機種でもよいのでプレクストークを準備できる方。Zoom の音声機能を利用できる方。

体験講座 w04 対面朗読疑似体験

内容：具体的な題材を用い、わかりやすく伝えるためにどのように読んでいくのかを体験します。読む側だけでなく、利用者側も体験します。

参加条件：Zoom のビデオ・音声機能を利用できる方。

体験講座 w05 点字を読もう

内容：点字の基本的な仕組みを学び、一覧表を用い、点字を読む体験をします。点字図書のタイトルや書誌事項、利用者からの手紙を読み取ります。

参加条件：Zoom のビデオ・音声機能を利用できる方。

体験講座 w06 ボイスオーバー体験

内容：iPhone や iPad などの iOS 端末に標準で搭載されているアクセシビリティ機能の 1 つ、スクリーンリーダー「ボイスオーバー」を体験し、視覚障害者が画面を見ずに、どのように操作しているかを学びます。

参加条件：iOS15（最新バージョン）の入った iPhone または iPad を準備可能な方。Zoom のビデオ・音声機能を利用できる方。

体験講座 w07 パソコンをキーボードのみで操作

内容：サピエ図書館の検索を題材にし、マウスを使わず、キーボードのみを使用することで、実際の視覚障害である利用者の操作環境を体験します。また、自身が所属する館の HP（ホームページ）のアクセシビリティ、利用者にとって使いやすさなどについて考えます。

参加条件：インターネットに接続した Windows10 のパソコンを準備可能な方。Zoom のビデオ・音声機能を利用できる方。

体験講座 w08 デイジー等資料制作体験

内容：デイジーを作成するために資料制作を行う際の仕様書を作成します。図表や写真の・注釈などの指示、デイジーの構造表（セクション分け、レベル付け）、凡例などの作成を体験しながら、一連の流れを学びます。

参加条件：Zoom のビデオ・音声・チャット機能を利用できる方。

体験講座 w09 視覚障害者等用データ送信サービスで提供するテキストデータ等を視覚障害者が利用する方法（iPhone/iPad 編）

内容：国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービスで提供する EPUB データ、透明テキスト付 PDF データ、プレーンテキストデータを iPhone や iPad に標準で搭載されているスクリーンリーダー「ボイスオーバー」での使い方を学習します。データのダウンロードから視覚障害者が利用する具体的な方法までの操作をボイスオーバーに対応したアプリを用いて体験します。

参加条件：国立国会図書館の「視覚障害者等用データ送信サービス」の送信承認館となっている館の

方で、インターネットに接続した iPhone または iPad を準備可能な方。Zoom のビデオ・音声機能を利用できる方。

体験講座 w10 視覚障害者等用データ送信サービスで提供するテキストデータ等を視覚障害者が利用する方法 (Windows パソコン編)

内容：国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービスで提供する EPUB データ、透明テキスト付 PDF データ、プレーンテキストデータを Windows 用スクリーンリーダー「PC-Talker」での使い方を学習します。データのダウンロードから視覚障害者が利用する具体的な方法までの操作を「PC-Talker」に対応したソフト「MyBook V」などを用いて体験します。

参加条件：国立国会図書館の「視覚障害者等用データ送信サービス」の送信承認館となっている館の方で、Windows 用のスクリーンリーダー「PC-Talker」及び「MyBook V」の製品版または体験版を事前にインストールし、インターネットに接続した Windows10 のパソコンを準備可能な方。Zoom のビデオ・音声機能を利用できる方。

体験講座 w11 災害時の対応について

内容：障がいにより避難が困難など、各利用者へどのようなアプローチができるのか、火災・水害・地震など災害時の対応（障害利用者誘導、事前準備、避難訓練など）に加え、災害後の利用者の安否確認、必要な情報の提供など、各館でどのような取り組みが出来るかを考えます。

参加条件：Zoom のビデオ・音声・チャット機能を利用できる方。

体験講座 w12 言葉のマップ作製

内容：図書館の最寄り駅・バス停までの行き帰りを、地図の代わりに言葉での説明文を作成し、利用しやすい身近な存在としての図書館の形を考える機会とします。

参加条件：Zoom のビデオ・音声・チャット機能を利用できる方。

申込方法

講義については国立国会図書館関西館にお申込みください。

体験講座を希望される方は、以下の要領で日本図書館協会にお申込みください。

※申込み締切後にご連絡をさせていただきます。

日本図書館協会 障害者サービス委員会あてに、メール本文に以下の内容を書いて、
syousa@jla.or.jp

に送信してください。※メールでの送信が難しい場合は、問い合わせ先にご相談ください。

(メールの件名は「障害者サービス担当職員向け講座体験講座申し込み」としてください。

スパム防止のため@を全角にしてあります)

申し込み内容：

お名前（ふりがな）： ()

所属先名称

所在地（都道府県から） 〒

電話番号

ファックス番号

メールアドレス（参加者への連絡用）

部署・担当

障害者サービスの経験 あり（通算 年） なし

参加希望体験講座（体験講座一覧から興味のあるものを5つ選び、書き間違いがないように、該当欄に体験講座番号と講座の名称をお書きください。できるだけ希望に添う形で振り分けますが、添えない

